

令和5年度全国学力・学習状況調査 庄内管内の現状と、明日への一歩に向かって

今年度の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。庄内管内と全国の比較では、小学校国語では全国平均をやや上回り、中学校では国語・数学ともに全国平均とほぼ同値、小学校算数ではやや下回る結果となりましたが、全国平均に近づきつつあります。4年ぶりの実施となった中学校英語は全国的に低い結果となりましたが、庄内管内ではさらに大きく下回る結果となりました。

本調査について各校においても分析し、自校への活用をアクションプランにてご報告いただき、ありがとうございました。子どもたちの確かな学力の育成をめざした授業づくりに向けて、ぜひ本調査の結果をご活用ください。

庄内の教科ごとの正答率

	国 語		算 数・数 学		英 語
	小学校	中学校	小学校	中学校	中学校
全 国	67.2	69.8	62.5	51.0	45.6
山形県	67	70	61	50	41
庄内 全国比 (昨年度)	やや上回る (ほぼ同値)	ほぼ同値 (ほぼ同値)	やや下回る (やや下回る)	ほぼ同値 (ほぼ同値)	大きく下回る

【庄内の表記について】

±0～1ポイント…ほぼ同値 ±1～2ポイント…やや上回る・下回る ±2ポイント以上…大きく上回る・下回る

学力調査の結果から見えること(全国平均との比較) ○よさ ●課題

【国 語】

小学校	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと	<知識・技能①言葉の特徴や使い方に関する事項>
	○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、中心を捉えること	<思考・判断・表現 A 話すこと・聞くこと>
	○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること	<思考・判断・表現 A 話すこと・聞くこと>
中学校	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと	<知識・技能②情報の扱い方に関する事項>
	○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと	<知識・技能①言葉の特徴や使い方に関する事項>
	○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと	<思考・判断・表現 B 書くこと>
	●読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること	<思考・判断・表現 B 書くこと>
	●文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握すること	<思考・判断・表現 C 読むこと>

【算 数・数 学】

小学校	○(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること	<思考・判断・表現 A数と関係>
	○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できること	<思考・判断・表現 Dデータの活用>
	●正三角形の意味や性質について理解していること	<知識・技能 B 図形>
中学校	●高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること	<思考・判断・表現 B 図形>
	○累積度数の意味を理解していること	<知識・技能 Dデータの活用>
	○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること	<思考・判断・表現 C関数>
	●自然数の意味を理解していること	<知識・技能 A数と式>
	●空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解していること	<知識・技能 B 図形>

【英 語】

中学校	○情報を正確に聞きとること	<知識・技能 聞くこと>
	●日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ること	<思考・判断・表現 聞くこと ア>
	●日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること	<思考・判断・表現 読むこと ア>
	●未来表現(be going to)の肯定文を正確に書くこと	<知識・技能 書くこと ア>

庄内管内の経年変化<小学校>



庄内管内の経年変化<中学校>



質問紙から見えること

数値は「あてはまる」「ややあてはまる」の割合(%)

○: 庄内が全国を3ポイント以上上回る項目
●: 庄内が全国を3ポイント以上下回る項目

学習に関わること

- 小学校では、国語・英語において「好き」の割合が全国を上回っている。中学校では、多くの項目で県・全国を下回っている。「好き」と「分かる」の好循環による授業改善を図る必要がある。
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童生徒の割合が、全国や県と比べて高い。また、「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合と平均正答率には相関関係が見られた。児童生徒が、自分自身にとって必要な学習内容を考え、計画的に家庭学習に取り組めるように働きかけることが学力向上につながるポイントである。
- PC・タブレット等の活用については、授業での活用(週1回以上)の割合が中学校で9割を超え、小学校でも前回と比較して上昇している等、活用の頻度が増加している。今後、児童生徒同士がやりとりする場面での活用を進めていくことで、活用の有効性がさらに高まると考える。

項目	小学校			中学校		
	庄内	山形県	全国	庄内	山形県	全国
国語の勉強が好き	○68.8	68.6	61.5	58.9	64.0	61.4
国語の授業内容はよく分かる	88.2	86.9	85.7	78.1	79.9	80.0
算数・数学の勉強が好き	59.3	59.7	61.4	56.8	56.2	56.7
算数・数学の授業内容はよく分かる	●77.4	78.0	81.2	71.5	70.8	73.3
英語の勉強が好き	○74.1	71.4	69.3	●47.5	50.9	51.9
英語の授業内容はよく分かる	調査項目なし			●57.7	60.2	63.9
読書が好き	○76.1	73.7	71.8	65.3	65.9	66.0
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	82.5	83.7	81.8	81.4	81.6	79.7
自分で計画を立てて家庭学習をしている	○81.1	79.8	70.7	○59.0	59.3	55.0
授業でのPC・タブレット等の活用(週1回以上)	●80.4	82.9	86.3	○90.9	85.9	87.5
PC・タブレット等の端末の持ち帰り(毎日)	○46.4	40.5	32.5	○76.2	54.2	40.9
授業でのPC・タブレット等の活用(自分で調べる場面/週1回以上)	94.6	96.3	94.9	90.5	90.4	91.0
授業でのPC・タブレット等の活用(児童生徒同士がやりとりする場面/週1回以上)	●41.1	51.4	68.5	●38.2	51.1	62.2

児童・生徒自身に関わること

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答している児童生徒の割合が高い。また、「楽しい」と回答している児童生徒の割合と平均正答率には相関関係が見られた。対話を取り入れ、多様な考えに触れる機会を取り入れた授業づくりが学力向上につながると考えられる。
- 児童生徒ともに、「地域の行事に参加している」割合がかなり高い。さらに、地域をよくしていこうという地域社会への参画意識も育成されている。

項目	小学校			中学校		
	庄内	山形県	全国	庄内	山形県	全国
自分には、よいところがある	82.8	84.1	83.5	81.5	81.9	80.0
将来の夢・目標をもっている	82.6	82.3	81.5	68.8	69.1	66.3
自分と違う意見について考えるのは楽しい	77.8	77.7	76.5	○81.3	80.2	77.6
地域の行事に参加している	○83.8	75.6	57.8	○53.1	49.0	38.0
地域や社会をよくするために何かしてみたい	○80.4	80.9	76.8	○70.5	70.9	63.9

全国学力・学習状況調査の分析から授業改善へ

10月17日(火)に第3回学校研究ワンアップ研修会が庄内総合支庁講堂にて行われました。「庄内地区における全国学調の結果から見えること」というテーマで講義・演習を行い、グループ演習では、下記の4つの演習問題から一つ選び、授業改善に向けた次の一手を話し合いました。

<参加者アンケートより>

- ・全国学調の庄内地域の結果という身近なデータを基に、本校の課題について考えることができ、有意義だった。
- ・全国学調のねらい3つのうち、継続的な検証改善サイクルの確立が1番の課題と感じた。つきたい力を基にした授業改善等、校内で発信していきたい。
- ・習熟度を上げるために、「早く・簡単に・正確に」答えを求めることに重きを置きすぎていないか話題になった。単元を通してつきたい力を明確にすることを意識していきたい。
- ・日常的に低学年から積み上げていくことが生きた学力の育成につながることを改めて実感した。今回話題に上がったことを学校全体で共有していきたい。

グループごとに活発な意見交換がなされ、共通に話題になったこととして「全国学調の結果から生きて働く資質能力を育成するために、授業改善が必要だと改めて感じた」、「つきたい力を明確にし、それを子どもたちと共有することが大切」などが挙げられました。



ぜひ、それぞれの学校でもミニ研修として、演習問題を活用し、授業づくりの視点について一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

【演習①】小算3(4) わり算筆算問題より

【けんたさんの説明】をもとにすると、66÷3の計算を、下のよう考えることもできます。

$$66 \div 3 = (60 + 6) \div 3$$

$$= \overset{\text{あ}}{60} \div 3 + \overset{\text{う}}{6} \div 3$$

$$= \overset{\text{え}}{20} + 2$$

$$= 22$$

○い: 60÷3
47.8%

▲う: 6÷3
29.1%

【66÷3の筆算】の手順2で十の位にたてた「2」は、上の式のあ、いう、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 66} \\ \underline{6} \\ 6 \end{array}$$



なぜこのような誤答が生まれたの? 解くために必要な力は?

【演習②】小算2(4) いす問題より

(3) いす4きゃくの重さをはかると、7kgでした。このいす48きゃくの重さは、何kgですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。



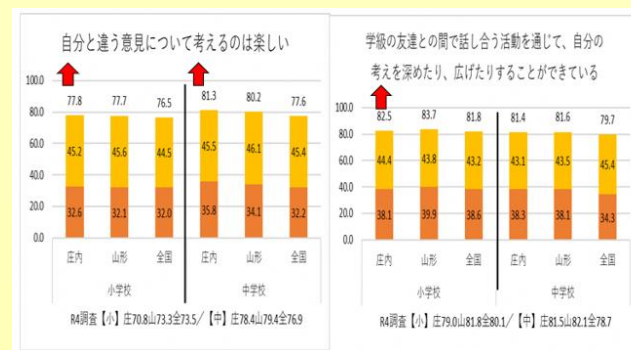
全国正答率 55.8%

○84と解答: 61.7%

▲7×48 13.4%

【演習③】児童生徒質問紙より

「協働的な学び」について



※上段「あてはまる」と回答した割合
下段「あてはまる」と回答した割合

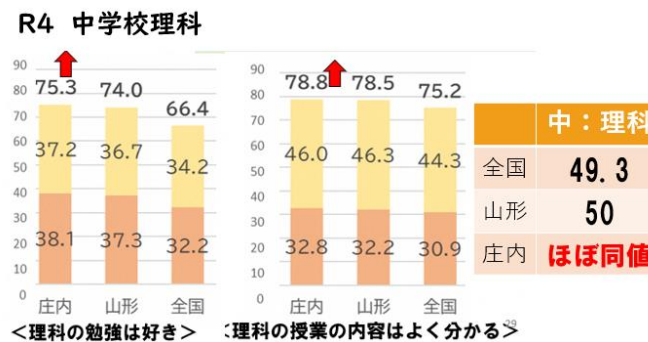


庄内の子どもたちの強みを授業づくりに生かせないかな?

「自校の強みを」「児童生徒の良さを」「学校研究を日常に」

【演習④】生徒質問紙より

「好き・わかる・できるへ」



「好き」から「わかる」「できる」につなげるには?

生かす・つなぐ

